

やないうづ

# 議会だより

Yanaizu

No. 179

2024.08.30



令和6年夏 柳津西山地熱発電所  
※最大出力3万kW

## Topics

### 6月定例会 6月5日～7日

- ・ 常任委員会現地調査……………2
- ・ 第2回定例会議案審議……………4
- ・ 一般質問 4人の議員が町政を問う！ ……6
- ・ 議会行政調査……………10
- ・ 第3回臨時会……………13
- ・ お知らせ、ちよつと一言 など……………14

# 委員会現地調査

より町内の現地調査を実施。その結果を6月定例会で報告しました。

## 総務文教常任委員会



- ・昨年度の変圧器キュービクル改修工事を確認。また、今年度予定の教室照明LED化の早期実施を要望しました。

## 小柳津地区



- ・新たに設置された40t級の防火水槽を確認。消火活動の負担軽減と初期消火活動に貢献するものと期待される。

## 西山小学校



- ・昨年度の屋上防水シート改修工事を確認。また、今年度改修予定の玄関外壁等を確認し早期実施を要望しました。

## やないづ縄文館



- ・池ノ尻遺跡出土の人体像把手付土器の修復状況を確認。希少価値は非常に高く、地域資源としての有効活用が期待される。

## 会津柳津学園中学校



- ・昨年度の防火扉改修工事を確認。今後も適切に管理いただくよう要望しました。

## 柳津温泉スキー場 (休止中)



- ・昨年度の第1リフトワイヤーロープ撤去工事を確認。また、レストハウス内部とその周辺の現況も確認しました。今後の方針を確立させ、しっかり対応いただくよう要望しました。

気になる  
現場を調査！

# 令和6年度 常任

5月9日（木）総務文教常任委員会並びに産業厚生常任委員会に

## 産業厚生常任委員会

### 町道五畳敷大成沢線災害現場 (四ッ谷高森間)



- ・4月6日に発生した四ッ谷地区から高森地区間の土砂崩れの現場を確認。川が閉塞しないようにパイプ埋設工事を実施。一日も早い復旧と町財政負担の軽減を要望しました。

### 大成沢・冨中地区取水・導水施設 整備事業



- ・工事の進捗状況や今後の予定等について確認。水不足の解消に大きな期待が寄せられている。適切な進行管理に努め、早期着工を要望しました。

### 奥会津ビジターセンター



- ・7月の開所に向け、急ピッチで作業が進められていた。国定公園としてだけでなく、当町の地域振興への相乗効果も期待される。

### 銀山川周辺堤防工事現場



- ・会津若松建設事務所より全体計画と整備方法について説明を受けた。未着工の地区では地盤の問題があり、景観にも配慮がほしいので、県に対して実態調査と計画見直しを強く要望しました。

こんなことを  
決めました

## 6月定例会審議議案 ー主な議案ー

令和6年第2回定例会が、6月5日から7日までの3日間の会期で行われました。今回の定例会では計画の変更、補正予算、人事、契約締結などの10議案及び議員提出議案4件を審議し、原案どおり可決、承認しました。

### 柳津町過疎地域持続的発展計画の変更について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、事業項目の追加や大幅な事業量の増減に伴う変更を可決した。

- ・公営住宅整備事業、小中学校施設改修事業、橋梁補修工事、トンネル維持補修工事などを追加し、財源として過疎債を充当する。

### 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定に基づき、事業項目の追加や事業費の増に伴う変更を可決した。

- ・4つの辺地地域のうち、西山東部辺地（久保田・牧沢・四ッ谷）  
町道五疊敷大成沢線改修事業の事業費増額（資材価格高騰のため）  
町道久保田三百刈線改修事業を追加（急こう配な進入路の改修）

### 柳津町一般会計補正予算ほか、3の特別会計、2の公営企業会計の補正予算

各会計の予算額を下表の額に改正

【主なもの】人事異動による人件費の変更、四ッ谷土砂災害の経費増など

### 固定資産評価審査委員会委員の選任について

天野 高氏（牧沢）が6月30日で任期満了となることに伴い、同氏を再任することに同意した。

### 工事請負契約の締結について

町営住宅長寿命化計画に基づき、経年劣化が進んだ柳ヶ丘団地1号棟の外壁改修工事の請負契約を可決した。

【契約金額】9,240万円 【契約の相手方】滝谷建設工業株式会社 代表取締役 田中 智仁

## ●6月定例会後の令和6年度予算額

		6月補正後	補正額	
一	般 会 計	42億5,855万1千円	1億1,855万1千円	
特 別 会 計	土 地 取 得	30万 円	0円	
	国 保	事業勘定	4億7,568万4千円	▲81万6千円
		施設勘定	6,094万3千円	94万3千円
	後 期 高 齢	6,038万6千円	8万6千円	
	介 護 保 険	5億8,666万8千円	▲123万2千円	
	町営スキー場	930万 円	0円	
公 営 企 業	簡 易 水 道	5億4,750万5千円	12万1千円	
	下 水 道	3億9,216万5千円	3,702万3千円	
合 計		63億9,150万2千円	1億5,467万6千円	

#### 【議員提出議案】

国・県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」の提出について



保護者の負担軽減や公平性を図るため、学校給食費無償化を国と県に求める意見書を採択。

#### 【議員提出議案】

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について

東日本大震災で被災した児童生徒の就学支援事業の継続を国に求める意見書を採択。

## 6月定例会議案審議

定例会の最終日に議案審議を行いました。質疑応答の一部（令和6年度一般会計補正予算）についてご紹介します。

### ◎2番 渡邊俊典議員

- ・農林水産業費の林業振興費、備品購入費のICT機械購入費というのは、どのようなものを買う予定なのか。
- ・商工費の中の観光費、ビジターセンターの改修工事、転落防止ということだが、どのようなものを考えているのか。

#### 【回答】（地域振興課長）

- ・「ほかパト」というICT機器で、熊とかイノシシの罠を設置した際に、子機を設置する。本来、罠の状況を確認管理するため見張らなければならないが、メール等でお知らせをしてくれるため、作業の軽減を図ることができる。10分の10の補助で購入でき、現在9台持っているが、今後、増設していきたい。
- ・施設改修工事については、2階の転落防止ということで、現在の柵の周りに転落防止柵を設置していきたい。



### ◎3番 磯目泰彦議員

- ・商工費の観光費、観光案内業務委託料について、国や地方公共団体が民間へ委託事業を出す場合には、消費税が当然かかるが、契約書にどのように記載されていても課税の事実が変わらないとなっている。消費税の性質上、預かり金等ではなく、商品や役務の一部になっている面もある。委託先の課税、免税事業者の別はあっても課税については関係しないと解釈している。委託先が課税事業者になったからという説明では、消費税が新たに発生したかのように受け止められるが、町の見解を改めて伺う。

#### 【回答】（地域振興課長）

課税事業者というところは、今回、4月1日からの対象になりますので、今回の補正ということになっておりますので、ご理解のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

### ◎9番 荒明正一議員

- ・災害復旧費の町単独災害復旧費の委託料と工事請負費の両方が上がっているが、同じ工事の中で処理されるものなのか。四ッ谷地内の工事分と高森地内の工事分で新たに計上していると思うが、これは一緒に計上されているのか。

#### 【回答】（建設課長）

土木施設災害復旧費の中の委託料と工事請負費ということで、測定の委託、地質調査の委託、いずれも関連しており、新たに発生した災害箇所、四ッ谷地内の災害復旧工事のため、補正をさせていただきたい。

# 只見線による観光振興を！

## ○柳津町会津柳津駅舎情報発信 交流施設について



3番 磯目泰彦議員

【※一般質問とは…議員が議長の許可を得て、町の事務全般について質す発言】

**Q** 令和4年10月に只見線は全線再開通し、メディアに取り上げられ、世界各地からの来訪者が急増したが、潜在的な問題の表面化が否めない。その中で4月12日に町駅舎情報発信交流施設がオープンしたので、次の点について伺う。

- ①今後の運営の在り方
- ②周辺整備の現状と今後
- ③施設からの交通網の課題

**A** (町長) ①現在、主に赤べこ工房、カフェ、観光案内の3つを行っていい。情報交換等を行い、より良い運営に努めていく。

②駐車場等の修繕が必要で、今年3月認定の歴史的風致維持向上計画(歴まち計画)と連携し、景観形成に合った整備を進めたい。

③町民バス、会津バス、タクシー、只見川電源流域振興協議会のカーシェアリングがあるが、利用者が少なく、大型バスで次の観光地や宿泊地に向かい、地域に「お金」が落ちないという課題がある。

**Q** 町で駅舎の無償譲渡を受けなければ、駅舎はどの様になっていたか？

**A** (副町長) 無償譲渡を受けなければ、駅舎の機能的かつ魅力的な整備ができなかったと思う。

**Q** 今年度の観光案内業務委託料は約648万円計上されている。今後も同じ委託料でいくのか？

**A** (町長) 実情と実績を踏まえて考えていく。

**Q** 運営業者募集の要項からすれば、カフェ業務に限定しなくても良いのではないか？

**A** (地域振興課長) 条例で「カフェ」と定められている。

**Q** 夜間営業、アルコールの提供、待合スペースでの飲食は可能か？

**A** (地域振興課長) アルコールの提供等は可能。待合スペースはJRを利用する方の待合室なので、基本はカフェスペースの中になつてくるかと考える。

**Q** 令和元年9月定例会で只見線活用計画の奥会津景観整備プロジェクトにより環境整備したいという答弁とホーム反対側進入路の必要性をご理解いただいたが、現在の進捗、検討状況を伺う。

**A** (地域振興課長) 奥会津の支障木伐採は、滝谷川橋梁ビュースポット整備をしたが、その他については進んでいない。「駅を守る会」など

の環境美化活動が功を奏しており、今後も継続していきたい。ホーム反対側への進入路については、今後、調査、協議を進めたい。

**Q** ホーム反対側への進入路の整備は全然動いていない。可能性を含め、検討内容や計画を後日提出してほしいかがか。

**A** (地域振興課長) 今までの経緯等を精査し、今後の方向性等を提示したい。

**Q** 駅周辺の空き家をステーションホテルにするというのはいかがか。

**A** (町長) 駅に近接するステーションホテルは難しいと思う。

**Q** 道の駅から柳津駅までの回遊性が非常に重要である。今年度事業への落とし込みについて伺う。

**A** (地域振興課長) 今年度から、道の駅と柳津駅を繋げたレンタサイクル事業を実施し、その効果も分析しながら進めたい。

**Q** レンタサイクルの稼働数は三島町の10分の1と伺っている。只見線ではサイクルトレインが始まるが、町の考えを伺う。

**A** (地域振興課長) 5月に6日間実施されたが、結果等はまだまだ出ていな



い。只見線利用客を増やす効果があり、国定公園内周遊にも有効と考えている。

**Q** 駅から徒歩や自転車で前に行き、バスで駅に戻り、只見線に乗車できるコースを考えなければならぬと思うが、町民バスのダイヤ組替えについて伺う。

**A** (町長) 今年度から大幅な見直しに取り組み、オンデマンド方式やライドシェアなどの新しい公共交通の形も考えたい。



2番 渡邊俊典議員

## 町の建築について問う！

### ○柳津駅駅舎改修工事について

### ○住まいづくり支援事業及び

### 柳ヶ丘の木造平屋建て住宅について

**Q** 柳津駅駅舎改修工事の設計委託について伺う。

**A** ①プロポーザル方式を採用した理由  
②何故、東京の設計事務所が入ったのか？  
③担当部署を地域振興課にした理由  
④実行設計価格と追加金額が出て来た時、どう考えたのか？

**A** (町長) ①馴染み深い駅舎の改修工事で、様々なデザインや工法の可能性もあり、より良い提案を採用するため、プロポーザル方式を採用した。  
②町指名競争入札の有資格業者名簿に登録され、町の業務委託に実績のある事業者を選定した。  
③駅の利活用は観光、地域振興に寄与する部分が多いため、地域振興課で所管したが、積算業務は建設課と協議し、委託した。  
④駅舎の耐震等の安全性や意匠性を確保するためには必要と判断した。

**Q** プロポーザル方式の実施に当たり、建築、マーケティング、観光事業の見識者がいたのか。また、採用された設計事務所は、これまでに当町での実績が、本当にあったのか。

**A** (町長) 手続きに瑕疵は無いと認識している。

**Q** 用地取得費の測量費が面積の割に、かなり多額であると思うがいかがか。

**A** (町長) J Rとの事前協議において、J Rが指定する業者と測量するよう条件が示されたこともあり、地元業者と比べると割高になった。

**Q** 見積もり自体がどうしても信用できない。有識者の第三者委員会調べてもらいたいと思うが、どう考えているのか。

**A** (町長) 適正に審査員を選び、その審査員のを考えて、この業者に決定した。適正に処理されていると

認識している。

**Q** ①町住まいづくり支援事業の対象条件に、本人が所有し居住しているものに限り、町に住みたい方に提供できる町営住宅についても、快適な生活と住宅の良質な維持のためにも、当てはめるべきと考えるがいかがか？  
②また、柳ヶ丘木造住宅は粗悪な状態であるが、低収入者のため、低料金で住める良質な住宅提供も大切だと思っていかがか？

**A** (町長) ①給排水設備や建物本体の修繕を町負担で行っているため、町営住宅は対象にならないと考えている。国等の補助があった時には、快適に過ごせる環境整備を進めていきたい。  
②昭和40年代建築の住宅であり、現在、全室空き家になったものから順次解体している。今後、住宅政策の課題に取り組む。

**Q** 町営住宅を建てる時、国県の補助金があるはず。今、人口が減っても、入

れる住宅が無い。適切な分譲地や土地も無い。今、大平団地は12戸空いている。所得制限などに柔軟な運用ができないか？

**A** (町長) 公営住宅法に基づき管理している。

**Q** 熱中症対策は必要であり、住まいづくり支援事業補助を適用できないか？

**A** (町長) 公営住宅には公金が入っており、更に補助金を交付すれば、公平性が保てないと思える。

**Q** 国民年金だけで生活している方がいる。古い住宅は壊し、低所得者向けの住宅は考えない、という方針なのか？

**A** (町長) 今ある長屋式割を果たしていると考えている。しかし、古い建物なので空いた場合には解体して行く。現時点では同じものを建てる考えはない。

# 人口減少に歯止めを！



6番 岩渕清幸議員

## ○人口減少問題への対応について

**Q** 人口減少、少子化問題  
は町の将来に大きくか  
かわる問題である。転出者  
減らし、転入者を増やす努力  
と合わせ、産み育てやすい環  
境をどう作り出していくのか  
伺う。

**A** (町長) これまでも、  
頑張れ子育て応援金な  
ど様々な経済的支援を。環境  
支援として、放課後児童クラ  
ブ、保護者への育児相談など  
を実施し、宅地分譲地整備や  
若者定住促進住宅の建設、新  
築住宅や空き家改修補助を行  
った。しかし、当町の人口は  
令和5年7月に三千人を割  
り、年間の出生数も8人と大  
変厳しい。

一方、令和4年6月の改正  
児童福祉法により一体的相談  
支援を行う「子ども家庭セン  
ター」の設置に努めなければ  
ならないが、当町では、子ど  
も家庭総合支援拠点が未設置  
で、令和7年度までに拠点を  
設置し、その後、子ども家庭  
センターを整備して、相談支  
援体制の充実を図っていき  
たい。

**Q** 昨年の町長選挙での公  
約に「空き家の利活用

と宅地分譲を進める」とある  
が、担当課にどのような指示  
を出したのか？

**A** (町長) 空き家数が増  
え続けているので、調  
査をしつかり行い、空き家バ  
ンク利用者を増やし、空き家  
活用の移住定住拠点を整備す  
るよう指示している。宅地分  
譲については、町所有地を候  
補地として調査するよう指示  
している。

**Q** 柳津町の空き家バンク  
登録数が少ないので、  
持ち主に対し補助制度の周知  
を含め、意向確認をする考え  
はないか。

**A** (みらい創生課長) 過  
去に空き家を調査し、  
所有者に郵送で意向調査を実  
施した。半分ほどが回答し、  
そのうち1割程度が利活用を  
望んでいたが、相続等の問題  
で登記しない方が多く、現在  
の登録数になっている。

**Q** 空き家を利活用し、お  
もりがあるか伺う。

**A** (みらい創生課長) 移  
住定住施策の拠点整備  
として、空き家の利活用を考  
えている。併せて、移住体験

施設についても整備してい  
きたい。

**Q** 宅地分譲の1区画の面  
積を今までより広く  
し、家庭菜園などが楽しめる  
ような広さにする考えは無い  
か。

**A** (みらい創生課長) 令  
和4年度に子供がいる  
一七〇世帯を対象としてアン  
ケートを実施したところ、約  
9割の方が、広い庭、家庭菜  
園などが可能な宅地を望んで  
いた。今後、整備を進めるに  
あたり、参考としていき  
たい。

**Q** 町民アンケートの「暮  
らしやすい町ですか」  
の設問に、否定的な意見の中  
で、取り組みたいことはある  
か。

**A** (町長) 全年代に共通  
する項目として、交通  
の便が悪い、買物の不便さ、  
ということ、公共交通の在  
り方を皆さんと話すことから  
始めていく。

**Q** 令和5年中の転出者数  
107人、転入者数66  
人という答弁がありました。  
振興計画に掲げる目標と大き  
な乖離がある。思い切った対

策が必要と考えるが、町長の  
考えを伺う。

**A** (町長) その理由を知  
るといふこと、様々な  
対処をしていくということが  
必要になってくると思う。

**Q** このまま人口減少が続  
けば、西山保育所の存  
続問題も起きかねない。保護  
者や住民の声を聴く機会を作  
る考えがあるか伺う。

**A** (町長) 本場に深刻で  
あり、地区、地域、保  
護者、関係者の皆さんと話し  
ていかなければいけない時期  
にきているのかなという思い  
はある。しかし、非常にデリ  
ケートな部分で、慎重に話を  
していかなければいけない。



# 農業政策は現場重視で！



9番 荒明正一議員

## ○農業後継者の確保と農地の保全について

- Q** 人口減少や高齢化により、町の主要産業である農業を支えていくのが非常に困難になり、国の施策、支援はあるものの、効果的な解決に結びついていない。今後を考えると、担い手確保は緊急の課題であり、移住、定住施策と併せ、意欲のある人材の確保を考えるべきであると考えますが、町の方針を伺う。
- A** (町長) 令和6年度に成総合対策の就農準備資金・経営開始資金を活用し、4名が就農、または来年に向けて研修を開始した。また、経営開始資金活用の3名は、町単独の農政推進事業も活用して、パイプハウス、機械、苗などの購入を行っている。その他、地域おこし協力隊1名が農業後継者活動をしている。町としては一定の効果があると感じており、継続していきたい。
- Q** 担い手の離農や規模縮小により、荒廃農地が人里まで出没してしまい、地域住民の安全を脅かす事態になっている。今後、どのような農地保全策をしていくのか伺う。
- A** (町長) 農地は個人財産なので、所有者に保全していただくことが基本だが、担い手不足や高齢化等により負担が増しているため、中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払交付金事業を活用して、地区または圃場単位で作業分担し、保全に努められるように取り組んでいく。
- Q** 非常に残念だが、今までの経過から、国の方針、政策が一番大きい問題と考えている。スイスでは、昔から農業、農家を救うため、食料に対する様々な政策があるが、町長は、どのように思っているのか伺う。
- A** (町長) 国の役割は非常に大事であり、政策上の問題は非常に大きい。その中で、町としてできることがあるはずで、それを探しながら、最大限の仕事、支援をしていきたい。
- Q** 実際に見て、農家の人と話をして、理解することが、問題の解決のためになると思うが、町長はどう思っているのかを伺う。
- A** (町長) とても大事だと思っている。現状を見る、その話を聞くということとは大切であると思う。
- Q** 実際の農家の姿を見て、町長、副町長が先頭に立って、この問題に取り組んでいくことが、最大の農政であると思っているが、何か対策等はあるか。
- A** (町長) これからは農地の集約、農家の法人化、農業のスマート化などを重ねることによって、少しでも儲かる農業にしていきたいと思っている。



### 議会録画映像のお知らせ

一般質問の映像を、町のホームページから視聴することができます。

町公式ホームページ → 町議会 → 議会録画映像

スマホやタブレット端末からも、見る ことができます！

(右のQRコードをご利用ください)



# 再生可能エネルギー先進地 行政調査

北海道(森町)



6月26日(水)から6月28日(金)までの2泊3日の日程で、議員10名による令和6年度議会行政調査を実施しました。

今年は再生可能エネルギー優良事例として北海道茅部郡森町(もりまち)を訪問し、今後の議会活動に資するため、その取り組みについて研修しました。

森町は渡島半島の中部、波静かな内浦湾と緑豊かな駒ヶ岳に囲まれた自然豊かな町で、人口は約1万4千人、世帯数は約7千5百世帯で、平成の大合併により、文化・地理的に結びつきが強かった、旧森町と砂原町(さはらちょう)が合併し、現在の森町となりました。

噴火湾に面し、ニシン漁や昆布の養殖など、江戸時代から漁業が盛んでしたが、昭和4年に駒ヶ岳が大噴火するなど、地底活動のエネルギーが高いところでもあります。

最初に訪れた木材総合メーカーの株式会社ハルキは、木質バイオマスの地域循環事業に取り組んでおり、北海道産の木材を8割活用することを目標とし、製材や集成材を造り、廃材も無駄なく利活用して、バイオマスボイラーにより、焼却した熱を木材の乾燥や発電に使用していました。

次に、森バイナリー発電所を訪問しました。森バイナリーパワー合同会社(北海道電力ほか2社の共同)の担当者より、北海道電力森地熱発電所の還元熱水を利用したバイナリー発電機(2,000kW)と園芸ハウスシステムの熱交換器室について、実際の設備等を見ながら、詳細な説明を受けました。

最後に、地熱利用の園芸ハウス栽培の状況(トマト、キュウリなどの大量生産)や今後の課題をご説明いただき、意見交換会を行いました。地熱利用での野菜の流通にも、九州地方の産地との重複する場合もあり、市場の競争に勝っていく難しさもあるようです。また、後継者の確保が最大の課題であるとのことでした。

## 歴史的建造物 箱館五稜郭の奉行所(函館市)



戊辰戦争最後の戦いとなる箱館戦争の舞台となった、函館市の五稜郭を訪れました。江戸時代に北方の守りとして建築された五稜郭は現在、国の指定史跡、北海道で唯一の特別史跡に登録され、多くの観光客(インバウンドを含む)で賑わっていました。

また、施設内及び周辺は環境美化がくまなく行き届いており、来訪者を快く歓迎してくれています。※写真の建物は、五稜郭の中心、箱館奉行所です。

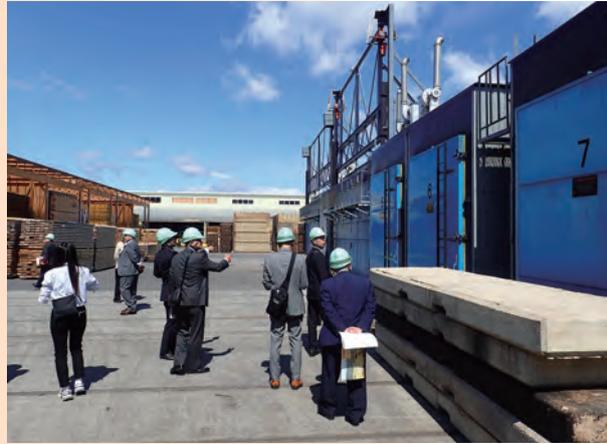
## 北海道茅部郡森町 (再生可能エネルギー)

自然エネルギーの  
循環活用を  
目指しています!

### 木質バイオマス地域循環事業 (株式会社ハルキ)



製材して、余った木片をバイオマスボイラーで燃やし、乾燥や発電に利用している。持続可能な木材資源の地域循環を目指す。



事務所、製材工場、人工乾燥機、加工工場、木質バイオマス工場、集成材工場、自社森林などを有する。(上記写真は人工乾燥機)

### 地熱発電還元熱水の2次利用 (森バイナリーパワー合同会社ほか) 還元熱水熱交換器室 森バイナリー発電所



地熱エネルギーの2次利用システム  
(園芸ハウスに熱を送る)



熱水等が巡るパイプライン

### 地熱利用の園芸ハウス



年間を通して、トマトなどの農作物を市場に出荷している。

### 意見交換会



北海道電力の担当からの説明と意見交換を行いました。

## 町最高デジタル責任者による「DX説明会」



5月23日（木）役場において、柳津町最高デジタル責任者（CDO）の藤井靖史氏より、議員向けのDX説明会が開催されました。DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組む意義をはじめ、町におけるDXの進捗よく状況や課題などの説明を受けました。

## 日産自動車(株)の取り組み状況視察

6月21日（金）浪江町で進められている日産自動車(株)による浜通り地域連携協定の取り組みについて、視察しました。

日産の電気自動車とDX（デジタル）を利用した公共交通機関のデマンドサービス（スマートモビリティ）や、環境省RE100（再生可能エネルギー100%使用）を目指した蓄電池としての電気自動車の活用、蓄電池のリユース（再利用）工場などを視察し、日産自動車(株)と浪江町の担当職員の方々と意見交換を行いました。



蓄電池のリユース工場



スマートモビリティ管制室

## 町村議会広報研修会



7月2日（火）福島市で、福島県町村議会議長会主催の広報研修会が開催され、柳津町議会では広報常任委員5名が出席し、より良い紙面づくりを学びました。

高まり続ける地域行政への期待、地方議会の重要度も増し、町民と議会とを結ぶ橋渡しの議会広報の重要性は言うまでもありません。

## 両沼地方町村議会議員交流会

7月17日（水）両沼地方町村議会議長会主催の両沼地方町村議会議員交流会がつきみが丘町民センターで開催され、両沼地方議会の議員約100名が集まり、お互いの交流を深めました。

また、記念講演として会津地方振興局長が登壇し、「会津地方振興局の取り組み」と題し、諸問題の解決を図り、持続可能な地域づくりのため、多岐にわたる取り組み内容について、詳しく解説していただきました。



## 第3回臨時会審議議案 — 主な議案 —

令和6年第3回柳津町議会臨時会が7月19日に開催されました。今回の臨時会では、専決の承認、補正予算、備品購入、契約の変更、契約の締結の6議案を審議し、原案どおり決定しました。

### 専決処分の承認を求めることについて(柳津町一般会計補正予算)

一般会計の予算に7,200万円を追加し、総額を43億3,055万1千円とする補正予算の専決処分を承認した。  
【専決理由】4月6日に発生した町道五疊敷大成沢線、四ッ谷高森地区間の土砂災害現場の復旧工事を緊急で実施するための予算を計上した。

### 令和6年度柳津町一般会計補正予算

簡易水道事業会計(公営企業会計)への補助金として141万6千円を支出するため、予備費の充当をする補正予算を可決した。(財源補正のため総額の増減はない)

### 令和6年度柳津町簡易水道事業会計補正予算

簡易水道事業会計(公営企業会計)の予算の総額に141万6千円を追加し5億4,892万1千円とする補正予算を可決した。

【内容】大成沢水道工事積算業務委託料の増額

### 消防用小型動力ポンプ普通積載車の購入について

第3分団藤班の消防用小型動力ポンプ普通積載車を更新するため下記業者との備品購入契約締結を可決した。

【契約金額】1,133万円 【契約の相手方】会津若松市 株式会社ホシノ 代表取締役 湯田 文章

### 工事請負契約の変更について

令和5年第2回定例会で可決した町道五疊敷大成沢線、四ッ谷地区の土砂災害復旧工事について、契約金額を増額する変更を可決した。

【変更後の契約金額】2億1,512万3,700円

【契約の相手方】有限会社 西村土建 代表取締役 猪股 勝

### 工事請負契約の締結について

令和6年4月6日に発生した町道五疊敷大成沢線、四ッ谷高森間土砂災害の土砂撤去工事請負契約を可決した。

【契約金額】1億10万円

【契約の相手方】有限会社 西村土建 代表取締役 猪股 勝

### 令和5年度 決算審査

7月18日より令和5年度の町会計決算に関する監査委員の審査が行われました。

昨年度の決算状況を調査し、平成21年4月から施行された地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づいた数値などを確認して、町財政健全化の推進などを促しました。



## 議会モニター

6月5日(水)議長室において、議会モニターへの委嘱状交付式が行われました。

新たに委嘱された5人のモニターさんからは、議会の運営に関することを中心に、いろいろなご意見をいただき、今後の議会運営についての参考にさせていただきます。



委嘱状を交付する様子

### 令和6年度議会モニター

岩佐 傳さん(猪鼻)新規  
金子セツ子さん(砂子原)  
白井 猛さん(野老沢)  
鈴木 早苗さん(小ノ川)  
鈴木 恭子さん(大成沢)新規

## — 議会の動き (令和6年第1回定例会以降) —

- 3月13日 会津柳津学園中学校卒業証書授与式
- 3月22日 柳津小学校、西山小学校卒業証書授与式
- 4月8日 柳津小学校、西山小学校、会津柳津学園中学校入学式
- 4月11日 両沼地方町村議会議長会臨時総会(会津坂下町・議長)
- 4月12日 町会津柳津駅舎情報発信交流施設オープニングセレモニー
- 4月19日 議会全員協議会  
会津総合開発協議会(会津若松市・議長)
- 4月28日 町消防団春季検閲式(運動公園グラウンド)
- 4月30日 町教育研究会総会(ふれあい館・総務文教常任委員長)
- 5月9日 総務文教・産業厚生常任委員会現地調査
- 5月21日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都・議長、副議長)  
会津若松地方広域市町村圏整備組合議会臨時会  
(会津若松市・広域担当議員)
- 5月23日 議会全員協議会
- 5月29日 議会運営委員会
- 6月3日 県町村議会議長会定期総会(福島市・議長)  
両沼地方町村議会議長会臨時総会(福島市・議長)



6月14日  
会津柳津学園中学校で  
講話をする議長

### 次回定例会のお知らせ

- ・初日は「一般質問」を行います。
- ・ゆきげ館とふれあい館ではテレビ傍聴できます。

令和6年 第3回定例会：9月4日(水)～9月11日(水)  
《9月4日 午前10時開会》



### 中学生議会開催のお知らせ

10月17日(木)  
午前10時開会

会津柳津学園中学校3年生による模擬議会「中学生議会」  
今年のテーマは「持続可能な柳津町をつくろう」です。  
町に対する疑問や提案を議場において一般質問します。  
「ふれあい館・ゆきげ館」でテレビ中継します。  
ぜひ、ご覧ください。(※議場では中学生が傍聴します)



#### ちょっと一言

七月三日に二十年ぶりに新しい  
一万円札、五千円札、千円札が発  
行となりました。新しいお札では、  
偽造対策が強化されたほか、お札を識別  
しやすくするための新たな工夫が施され  
ているとのこと、犯罪防止策としての  
向上はもちろん期待できますし、視力の  
良くない方にも指で触れてお札の識別が  
しやすいようになりました。表面の肖像  
は、日本の近代化に貢献した三名、一万  
円札が『渋沢栄一』、五千円札が『津田  
梅子』、千円札が『北里柴三郎』が描か  
れましたが、これらは財務省、日本銀行、  
国立印刷所の三者で協議され、最終的に  
は財務大臣が決定し、公示するという事  
です。会津の人間としては『野口英世』  
のお札が無くなってしまふのは、少し寂  
しい感じもいたしますが、心機一転と言  
ったところでしょうか。

さて、心機一転と言いますと、今回の  
『やないづ議会だより』ですが、中身の  
色合いを変更してみました。今後とも町  
民の皆様が『読みやすい』『見やすい』『分  
かりやすい』『会報づくりが出来る様』に工  
夫を凝らしていきたいと思っております。皆さ  
まのご要望等ございましたらお気軽にお  
っしゃって頂ければ幸いです。  
(小林 浩)

#### 広報常任委員会

委員長	新井田 順一
副委員長	小林 浩一
委員	小田 俊典
委員	渡辺 正純
委員	荒明 純一
委員	伊藤 純一